

**製品名: CRBP-III ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09369**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	RBP5
別名	RBP5; Retinol-binding protein 5; Cellular retinol-binding protein III; CRBP-III; HRBPiso
遺伝子 ID	83758.0
SwissProt ID	P82980
免疫原	抗血清はヒト CRBP III 由来の合成ペプチドに対して産生された。AA 範囲: 10-59

**背景**

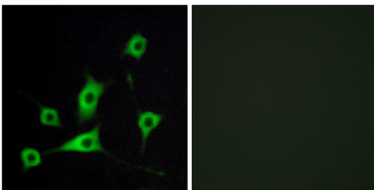
レチノール結合タンパク質 5 (RBP5) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腎臓と肝臓で高発現する細胞性レチノール結合タンパク質です。肝細胞癌におけるこのタンパク質のダウンレギュレーションは、腫瘍サイズの増大と患者の生存

率の低下と関連していました。[RefSeq 提供、2016年7月],ドメイン: 内部に疎水性リガンドを収容する  $\beta$  バレル構造を形成する。 ,  
機能: レチノールの細胞内輸送。 ,類似性: カリシンスーパーファミリーに属する。脂肪酸結合タンパク質 (FABP) ファミリー。 ,組  
織特異性: 成人の腎臓と肝臓で高い発現を示し、成人および胎児の脾臓、成人のリンパ節と虫垂、胎児の肝臓と腎臓では発現が低  
い。肝細胞癌組織では (タンパク質レベルで) 著しく減少している。 ,

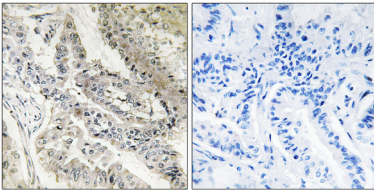
## 研究分野

-

## 画像データ



CRBP III 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CRBP III 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。